



本社

- 本社所在地：兵庫県姫路市阿保甲878番
- 事業概要：設備事業、水道事業、SaaS事業  
水道スマートメーター事業
- 常時使用する従業員：121名  
(グループ全体・2024年9月期)
- 現在の売上高：68.8億円  
(グループ全体・2024年9月期)
- 法人番号：9140001114677
- Web：https://www.infraplus.co.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役グループCEO  
中島 誠一郎

## ライフラインを支え人々を幸せに。

当社は「ライフラインを支え人々を幸せに」という揺るぎない志を胸に、日々の事業活動に取り組んでおります。人々の生活に不可欠なライフラインを安定的かつ安全に提供することを通じて、全ての人々の安心と豊かさの実現に寄与することを使命としています。目まぐるしく変化する社会情勢や環境課題に柔軟かつ真摯に向き合い、今ある価値にとどまることなく、未来を見据えた革新と挑戦を続けることで、地域社会との共生、ステークホルダーとの信頼関係構築を大切にしながら、次世代へと誇れる社会を築くため、これからも決して立ち止まることなく、全力を尽くして事業に邁進してまいります。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

当社グループは2028年にグループ売上高100億円の達成を明確な目標として掲げており、その実現に向けて、既存事業の強化と新規事業の拡大を両軸で進めます。上下水道分野における水道DX化および老朽管更新需要の取り込みにより、受注を拡大していく方針です。

### 課題

- ・ ICT・IoT・AIなどの先端技術を活用した「水道DX（デジタルトランスフォーメーション）」の推進
- ・ 官民連携による老朽管路の更新需要の増加に伴う、水道管路更新工事のシェア獲得
- ・ 水道工事業界が抱える人口減少に伴う収入減、設備老朽化、技術者不足といった多重課題への対応

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

全社共通：  
水道DX、管路更新をトータル提供可能なグループ体制の構築  
水道スマートメーター：  
生産体制の増強、生産環境の向上・品質維持、通信技術開発  
料金計算システム：  
外部システムとの連携強化、安心・安全なデータ利用環境の強化、情報セキュリティの堅持

### 実施体制

水道DX・管路更新をトータル提供可能なグループ体制を構築するために、経営・技術・営業・DX推進を横断する全社的な連携を強化します。スマートメーター分野では、製造・品質・通信技術の各部門が連携し、生産能力の増強と高品質の維持、次世代通信への対応を推進。料金計算システムでは、システム開発部門と情報セキュリティ部門を中心に、外部システムとの連携性やクラウド環境での安全なデータ運用体制を整備。法令遵守と信頼性を確保し顧客サポート体制の充実を図ります。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現目標とグループ体制

株式会社インフラプラスグループは「ライフラインを支え、人々を幸せに。」というビジョンのもとに水道インフラの社会課題の解決を行うことにより持続可能な水道資産の運営に貢献することを目指しています。

現状、水道の老朽管の更新は喫緊の課題となっており、技術者の高齢化、さらには人口減少・高齢化による税収不足、節水技術の進化による水道料金の減収、特に人口減少の進む中山間部では更新投資は減少している現実があります。

約40兆円の水道資産、社会を支える水道インフラが社会問題にならないために、「老朽管の更新率のUP」を目標として、水道DXの推進、水道資産交換の最適化、破損事故の防止など持続可能な水道事業の運営に貢献するために当社は事業を展開していきます。

売上高



○法人番号：9140001114677（株式会社インフラプラス）、9140001060343（株式会社ナカシマテクノス）、3140001114674（株式会社ナカシマ）  
8140001114884（株式会社ウォーターリンクス）、3140001127395（株式会社ウォーターデバイス）、5011701008565（千賀商事株式会社）、3140001002978（安藤建設株式会社）